

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	南信州担い手就農移住促進事業
事業主体 (連絡先)	南信州・担い手就農プロデュース
事業区分	(6)産業振興、雇用拡大 イ 農業の振興と農山村づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	955,191円(うち支援金:764,000円)

事業内容

○名古屋で1回、東京で2回、地元で2回の計5回、南信州の知名度向上、南信州農業への誘致・勧誘、次年度農業担い手研修候補者の確保につながる活動の実施。

○上記活動への集客、南信州・担い手就農プロデュース事業のPRを含めた情報発信として、当組織専用HP運営・農業求人サイト「あぐりナビ」活用事業の実施。



【南信州PRと就農移住相談会】

【目標・ねらい】

- ①南信州の知名度向上
- ②地域農業の維持へ向けた誘致勧誘
- ③新規就農者・農業担い手候補者の確保と移住定住事業の協働
- ④地域農産物のPR
- ⑤ネットサイト活用による周知

事業効果

①東京・名古屋で計3回の南信州PRイベント・就農移住相談会を実施し、延べ約6,700人の来場者があった。地域農産物の展示や試食、観光情報を含めたPRも行い、大勢の方に「南信州」を知ってもらえた。

②就農・移住相談会では、市町村とJAが連携し就農から移住定住に係わる一体化した相談機能を発揮し、来場者に対し当地域の農業情勢、就農プラン、収支モデル等を具体的に示した誘致勧誘を実施できた。

③年間通して複数回相談会を実施できた事により、相談者・当組織の双方にとって効率的に継続した相談機能が発揮でき、2019年度担い手研修生として7組が決定、移住先の市町村も決定できた。さらに2020年度の研修希望者としてすでに2組と相談対応を継続しており、事業を実施した効果が得られた。

④東京・名古屋で実施した事業では、その都度地域農産物紹介コーナー・試食を実施し、それが集客にもつながり広く地域農産物PRに貢献できた。

⑤上記事業への集客、当組織の活動内容PRのため、チラシ配布に加えネットサイト「あぐりナビ」も活用したことで延べ約6,750人以上の来場に至った。

※自己評価【A】

【理由】

就農・移住相談対応と南信州産農産物紹介を組み合わせた「南信州」のアピールにより大勢の集客に成功し、2019年度農業担い手研修生として7組の移住者を確保するに至り、目標・ねらいを達成した。

今後の取り組み

就農・移住事業は継続的な誘致勧誘と、信州及び南信州の知名度アップ周知が必須となることから、就農と移住そして農産物PRのセットによるフェア・相談会の開催は継続することが肝要であると判断する。

また、南信州観光情報を含めた地域情報発信とフェア・相談会開催の周知として農業求人サイト「あぐりナビ」を活用したが、ネット社会におけるサイト活用の効力は大きく、今後はペーパーチラシからネット活用にシフトすることをさらに進めたい。